

会 議 録

会議の名称		第4回第2期つくば市教育振興基本計画懇談会		
開催日時		平成28年8月2日 開会 13:30 閉会 16:28		
開催場所		つくば市役所庁議室		
事務局（担当課）		教育総務課		
出席者	委員	卯城祐司（座長） 樋口直宏 垣花京子 米徳康博 軍司絹子 倉田廣之 岡野和夫 矢口和子 矢口和美		
	その他	柿沼教育長 塚田教育局長 矢口次長 梶山次長 瀧田学務課長 村上教育施設課長 中山健康教育課長 石黒教育指導課長 中山教育相談センター所長 山本文化財課長 中根中央図書館長 秋葉文化振興課長 加瀬総合教育研究所指導主事		
	事務局	大塚教育総務課長 美野本補佐 浅野主査 谷沢主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2名
非公開の場合はその理由				
議題		(1) パブリックコメントの結果について (2) その他		
会議録署名人			確定年月日	平成 年 月 日
会議次第	1 開会 2 教育長あいさつ 3 座長あいさつ 4 協議事項 5 閉会			

1 開会

事務局

皆さんおそろいになりましたので、始めさせていただきます。お集まりいただきまして、ありがとうございます。

私、本日進行を務めさせていただきます、教育総務課の大塚でございます。よろしくをお願いします。

会議に入る前に、つくば市会議の公開に関する指針に基づき、本会場に傍聴席を設け、懇談会を公開いたします。どうぞ趣旨等を御理解いただき、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまより、第4回第2期つくば市教育振興基本計画懇談会を始めさせていただきます。

本日の懇談会がプラン策定のために最後の会議となります。よろしくをお願いします。

2 教育長あいさつ

事務局

初めに、教育長より御挨拶をお願いします。

教育長

皆さん、大変ご苦労さまでございます。お昼の暑い時期、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

この部屋は庁議室といって、今朝庁議を開催しているところでもあります。月に1遍、記者を入れて、ここで様々な事業の報告や推進についての意見をもらうところでもあります。そういう場所での、最後の、第4回目のつくば市教育プラン懇談会ということで、皆様方にパブリックコメントの結果について御審議いただき、今後のプランにどう生かしたらいいかを御審議いただければと思っております。

6月3日から7月2日の期間でパブリックコメントを実施いたしました。12人の方から御意見をいただきました。これらは皆様方に前渡しで御理解いただいていると

ころであります。このことについて、今後、どのように対応していくかということも含めて御審議をいただければ大変ありがたく思っております。

最後になりますが、この教育プランは、学校教育等を中心とした教育プランでございまして、その点はプランの冒頭に書かれておりますが、目を通さないでしまうとそのことが抜けてしまいますので、どうかよろしく申し上げます。以上でございます。

3 座長あいさつ

事務局

続きまして、本懇談会の座長であります、卯城先生より御挨拶をお願いしたいと思います。

座長

こんにちは。お忙しいところありがとうございます。

パブリックコメントを一通り拝見して、もう少しこのようにお伝えしたらより伝わるかなと感じたり、また、中には新たな課題を考える機会をいただいたりしました。計画（案）について、このコメントを受けまして、御審議をよろしく願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

それでは、これからの協議の進行は、卯城先生をお願いしたいと思います。

よろしく願いいたします。

4 協議事項

(1) パブリックコメントの結果について

座長

それでは、議長を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

協議事項（1）パブリックコメントの結果について、まず事務局よりご説明をお願い

いたします。

—事務局説明—

座長

ここまでの説明に関して、御意見、御質問、お願いいたします。

意見番号6-1の生涯学習について、プランの最初に範囲というのが幼児・児童生徒対象だと書いてあるのですが、この御意見というのは、生涯学習につながるとか、今やっている幼稚園から小学校、中学校の教育というのがどんなふうにつながっていくとか、そういった文言も計画に入れて欲しいというようなとらえ方もできるでしょうか。それとも、全く範囲が違うというままでいいのか。

あるいは、2つ目の1-1の特別支援教育のところも、確かに、該当の基本方針3の部分、施策の1番に細かく書いてあるのですが、もう少し前のほうに言葉が出るよという御意見なのか、そのあたりはどのように受けとめておられるのでしょうか。

事務局

意見番号6-1に関しましては、生涯学習推進基本計画が策定されていますので、生涯学習に関してはそちらでカバーできているという考え方です。

第1期計画でも学校教育に特化した内容となっています。ただし、生涯学習の中でも家庭教育などについては本計画の中に入っております。

座長

ありがとうございます。

委員

この意見は、生涯学習を目指した能力の育成を学校教育段階から行っていくことを示しておくことを求めているということですね。

その点では、計画の1ページの趣旨でも「社会で協働していくための能動的・主体

的な力である社会を生き抜く力を確実に伸ばす」という記述があるので、生涯を通じて学んでいく力を育てるための学校教育なんだとうたってあると捉えられると思います。

ですから、内容を詳しく書くというのではなくて、学校教育と生涯学習はつながっているんだよという記述を入れてほしいという御意見ではないか、ということですが、それはもう最初に明確に書いてあるので、大丈夫かなというふうに考えました。

1つお聞きしたいのですが、今の骨子の考え方というのは、パブコメに対する答えとして、出された人に返していくということですか。

事務局

そうです。市の考え方（原文）とありますが、まとめたものはちょっとポイントがずれたものもありますので、（原文）のほうで整理したいと考えております。

委員

回答を個人として受けた場合だと、自分の聞いたことに答えてくれていない、剥落されたみたいな感じを持つような、一般的な表現になっている部分は確かにあるかと思えます。ただ、今お聞きしたのは、似てる質問はまとめて回答ということになるのでしょうか。

教育長

同じような内容だから、まとめて1つで回答するということでしょう。

委員

まとめた同じ文章で。そうすると、自分の聞いているのは一部分のことなんだけれども、他の人の質問に対する答えも混じっていると、自分のことについて答えてもらっていないという印象を受ける。

事務局

一個一個の質問に対し個別に答えるというよりは、計画を策定するに当たってご意見をもらっているわけですので、ある程度、質問のほうもまとめるということも考えております。

委員

お答えするときに、こんな質問がありましたという一覧表みたいなものもつけるということですか。

事務局

このような質問が出ていますというのは、前から公表しています。計画を策定するうえで、ある程度整理してまとめる必要があると考えています。

委員

「あなた様と似たような意見で、こういうのがありました」ということもわかるように回答するということですか。

事務局

個別の問い合わせに対しての答えではないので、そこまで具体的には書きません。例えば、小中一貫に関する質問、ICT教育に関する質問、特別支援教育に関する質問というように分類して、内容を整理して答えます。

委員

つまり、一人一人にお答えするのではなくて、こういう質問についてはこういう考えですというのを一覧表の形でまた公開するということですか。

事務局

小中一貫教育の中でも、質問によってはまとめられないものもいくつかありますが、質問ごとに答えるようにはします。一個一個の質問、一人一人の質問に対して全て答えてのではなくて、意見のほうも整理してまとめて、回答をします。

パブコメでは、質問に対してお答えするというのもありますが、そういう質問があったことで、計画の表現に何か不足があったのではないかと気づかされることもあります。そこで、回答の中でよりわかりやすいように修正を加えたり、表現等を変えて、方向性をよりわかりやすいものにする、そういったこともこの中で行います。

ただ単に意見に対して回答するというのではなくて、「こういうふうに修正しました」ということも、この中で出てくるのではないかと思います。

座長

ありがとうございます。

パブリックコメントは、教育プラン全体というよりも、細かい御質問とか要望もあるので、そうしておかないとならないのだと思います。

引き続き、御意見、御質問、いかがでしょうか。

委員

今のやり方はよくわかりました。ここに書いてある市の考え方の（原文）と、市の考え方の（案）にすごいギャップがあって、余りにも（案）のほうが冷たい、ほとんど回答になってないんじゃないかなって感じがしたので、また整理なさるのであれば、それでいいです。

昨日、つくば市の行政経営懇談会に出席したのですが、つくば市の教育が、なかなか市民に伝わってないということがその話し合いでよくわかったんですね。小中一貫校については、内部の先生方や、やってらっしゃる方は、とてもいいことだということで頑張っていってらっしゃるのがわかるのですが、一般市民の方は、パブコメにも出ているように、「大規模校になって大変じゃないか」とか、「本当に一緒になってギャップがなくなったのか」とか、すごく不安に思っらっしゃる方が多いので。

確かに計画の中にそういうことを入れる必要はないかもしれないですが、課題をクリアした中で実施しているのだということを何らかの形で市民に伝えないと、学校の先生たちがわかっているだけではだめなのではないかと、昨日つくづく思いました。

「つくばスタイル科」についても、計画を読むとすごく丁寧に書かれていますが、一般市民の方には、何をやっているのかなかなか伝わっていないと感じます。

教育プランはよくつくられているとは思いますが、パブリックコメントへの回答の市の考え方の（案）のところを読むと、「文部科学省が言っているからやっているんだ」みたいな答えになっていますが、そうではなくて、つくば市独自でちゃんとやっているんだよということが伝わるような回答でないと、やはり市民の不安は取り除けないと思います。

大規模校の不安も、小さいところでも不安だったのに、大きくなったらどうなるんだろうと思ってらっしゃる方が多いですね。これはもちろん代表的なもので、ここに声を出すというのはかなり勇気がいってなさっていることじゃないかなと思いました。

それから、「信頼される教職員」のところですが、「信頼される」という意味が、なかなか難しいですね。ものすごく広い意味になって、「教職員の資質の向上」とか、「高い資質の教職員を育てる」というほうが、それはもう「信頼される」という言葉も入るので、きっとその「信頼される」という言葉自身があいまい過ぎるのではないかと改めて思いました。

座長

ありがとうございます。

委員

小中一貫教育に関するアンケートですが、これは一部をここに示しただけで、全体的なものが示されていないので、これだけかという錯覚を起こしやすいですね。

もっと細かく調査して、量はかなりあったはずなので、そういうものを市民の人たちもわかるような形で、小中一貫教育に取り組んできたことによって、こういうふうに変えていくんだということを示したほうがいいと思います。

知・徳・体の育成、小中一貫教育も取り上げて、変容がよく見えるような形にして、その辺を少しくま説明したほうが誤解を招かないのではないかと感じました。

座長

はい、お願いします。

事務局

「信頼される先生」については、以前の案では「魅力的な先生」としたのがわかりづらいということで、修正しました。施策としては「教職員の資質の向上」、「指導力の向上」と具体的に書いていますが、こういう御意見がありましたので検討しなければいけないと思います。

この計画は基本計画で、方向性を示すものとなっていますが、御意見もありましたので、資料編をつけ加えるか、またはホームページに掲載するなどを検討したいと思います。

座長

そうですね。信頼されていないという状況は想定してないし、そういう現状でもないと思うので、ここは文言としては検討の余地があるかもしれません。

委員

今拝見していて、あくまでここでやるべきことは、パブリックコメントに関する回答もそうですが、教育プランをどう修正するか、それについてどう書かれているかということだと思います。

プランの中からは読み取れないというか、逆に言えば、それを踏まえて、丁寧にいろんなコメントを書きとらえていると、そういうことはもちろんあるかと思いますが、では、そこも踏まえて今度盛り込んでいくとなると、プランそのものが膨大なものになるし、逆に、取り上げたことだけを詳しく書いていくということだと、では取り上げないところとのバランスはどうするんだということがあるので、あくまでプランの中に沿って考えたほうがいいのかと思います。

そう考えると、プランのほうの冊子で、5ページあたりの先ほど出てきた小中一貫教育のアンケートの、「やさしくできる」とか、「協力できる」とか、これは、项目的にはあくまで、その前の「生きる力を育む教育の推進」の成果を見るだけであって、使っているアンケートは小中一貫教育のことだという理解で考えると、結果的に小中一貫教育をやった成果という目で見ているのですが、あくまで小中一貫教育であるからという、そういう問題ではない、そういう見方で回答していくことも、コメントのつけ方としては大事なのかなと思います。

また、7ページから9ページにかけては、小中一貫教育の推進という欄があって、そこに関する質問や御意見というのが、御報告いただいた中で半分くらい占めているということなので、そこはちょっと考えなければいけないなと思います。

特に、プランの9ページのところで、パブリックコメントもそうなのですが、小中一貫教育全体の話なのか、義務教育学校としての春日学園の話なのか、他の学園の話なのかというのが、ごっちゃになっている。書かれている側からすれば一緒になるのはやむを得ないところもあるのですが、対応する側として、例えば、大規模校の問題というのは、春日学園がたまたま今、そういう人数になっているということであって、義務教育学校にしたら必ず大規模校になるわけではないということですね。

ですから、大規模校の問題は大規模校の問題として回答する必要があるのであって、小中一貫教育の問題として答えるべきではない、というところがあります。

もう1つは、分離型、今度は併設型という名前に統一されることになりますが、でいうと、発信というのがいつも出てきますが、ここについて言えば、発信の問題もさることながら、やはり離れている学校でどうやって小中一貫教育をしているのかということ示していく必要があるし、それは私もずっと、この間、小中一貫教育のことを関わらせていただいて、これからの併設型の学校では特にやるべきことかなと思います。

現実にはそれは、こことは違う懇談会、あるいは、総研のほうで今やっているカリキュラムづくりのところで繋いでいくということが見えていますので、その部分はこれから出すプランの話なので、差し支えない範囲で、こういうことを考えているということ例えば9ページあたりに盛り込んでいくということは、大事なかなと思います。

そうでないと、施設分離型の小中一貫教育の場合はICT機器の活用をする、それから、今後は一体型の義務教育学校の計画的な設置が必要だという話になると、連携型はICTをやって、義務教育学校を増やしてというふうに短絡的に取られてしまうことになりかねません。従来の併設型の学校はなくなってしまうというというか、削っていく方向を鮮明に出すような形になって、それは市の方針とも違うと思われそうですし、現実にはどういう形になっても併設型の学校は残るわけですから、その併設型の学校においては、教育課程づくりをより積極的に進めることで、これからの小中一貫教

育がより目に見える形になるという、そういう文言は何らかの形で挙げていただけるといいかなと思います。

そうすれば、例えば、英語教育や、音楽教育についての御意見、これは学習指導要領の問題にもなってきますが、実際にこんな授業があるという提案はむしろ先生方の中でもお持ちだと思うので、それが小中一貫教育の仕組みの中でできる、積極的にむしろやるべきだという意味でも、そこへの回答にもつながるかなと思います。

座長

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

教育長

教育局では、「学び舎」という教育広報を発行して、学校をとおして全保護者に配布し、小中一貫教育の取組等について説明しています。しかし、あまり読まない方が多く、なかなか伝わっていかないということが課題ですね。

各学校がそれぞれのやっていることをしっかりと家庭や地域に伝えるということをやっているんですが、なかなか伝わっていかないということで、今それを課題にして、各学校長会、あるいは、各学園がしっかりやっというということで、昨年度あたりから進めているものです。

ですから、徐々に浸透はしてきていると思いますが、例えば、小中一貫教育と名前をつけますと、これは何だということになりますが、小中一貫教育は一つの手段でありますから、この手段を使ってよりよい子供たちを育てようということをやっているわけですが、小中一貫教育をを前面に出すと、メリット、デメリットは何かということになってくる。ではどうすればいいのかということをしっかり踏まえながら、こういう会議もしたり、これからの教育プランをどのようにするかということも含めて御検討いただくという機会にしております。

何かいいアイデアがありますれば、我々に御教示いただきたいと思っております。

座長

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。

では、後でまた戻るということもあり得ると思いますし、ほかに御意見等がないようでしたら、次に進めさせていただきます。

それでは、引き続き御説明をお願いいたします。

—事務局説明—

座長

今、ICTを中心とする新しい時代に対応した教育の推進、続いて、地域人材の活用、豊かな心と健やかな体を育む、幼児教育の充実等について寄せられました御意見をもとに御説明いただきましたが、お気づきの点、御質問等、いかがでしょうか。

委員

ICT関係ですが、市の考え方の基本的な（原文）は、市がICT教育を進めている基本的な考え方をしっかりと押さえた内容だと思いますので、基本的にはこれによるのではないかなと思います。

中教審によると、2020年の学習指導要領にも、ICT活用についてはきちんとしたスタンスがありますので、そういったことを先取りしているつくば市のICT活用の基本的な考え方をしっかりとお伝えしていく必要があると思っています。

座長

ありがとうございました。

他にいかがでしょう。

委員

ICT教育については、パブリックコメントの意見と同じようなことが保護者の方や地区の方から今までずっと言われてきたことだと思います。

ただ、我々は、ICTを使うことが目的ではなくて、その利活用によって子供たち

に力をつけさせているわけですので、自信を持ってしっかりとここで回答をしていきたいと思っているところです。

特につくば市は、「4C」ということで具体的の方針を打ち出しています。ただ、保護者の方とか一部の方はやはり、具体的に「こんなふうに」というような例を挙げないとなかなかわかりづらいかと思いますので、あわせて学校のほうでも周知していかなければならないなと思ったところです。

座長

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

委員

ICT教育とか、小中一貫教育とか、興味があるところが偏っているなと思っ
まして、その部分は、やはり丁寧に説明をする必要があるのかなというふうに私も思
っています。

素人目には、ICT教育というのは、ツールを教え込むことがいいんだ、みたいな
ことかなと思っていたのですが、矢口先生たちがおっしゃったように、それを利用し
ながらいろんな教育をしていくということがどうしても保護者の方々も見えにくい、
理解しにくいところかなと思いますので、今後も丁寧に説明していったらいいのかな
というふうに思います。これは意見です。

最後に、8ページ、プールを9月にというのは、9月になぜ入れないのかをきちん
と回答するべきだと思いました。

座長

ありがとうございます。

ICT教育は、例えば、総務省や文科省のプロジェクトが入っている東京の本田小
学校でも、特に父母の理解が大切だということで、タブレットパソコンをわざわざ父
母のために持ち帰る日をつくるなどして理解を得ることに力を入れていたので、そう
したことも必要なのかもしれないと感じました。

教育長

ICT教育は「やり過ぎだ」と、「ここまで力を入れる必要があるのか」というような意見がありますが、実際はまだまだやり足らなくて、機材もそろっていません。

そういう中で、先生方が最大限の努力をして、電子黒板やタブレットを授業に活用している。ICTを使った授業と、そうでない授業では、ICTを使ったほうが非常に子供たちの興味関心が高くなるし、思考力や判断力、表現力、協働力、そういうようなものが増えていきます。

4C学習というのは、少ないながらも機器を最大限使って学習して、子供たちは理解を高めていって、つくば市の子供たちの学力向上には大きく寄与していることは間違いない事実であります。結果も出ているわけです。

そういうことをこれからもお伝えしていきたいのですが、過ぎていくということになると、それでいいんだということが終わってしまいますので、これはもっと理解をしていただかなければいけないということを目頃感じているところです。

座長

ありがとうございます。

委員

幼児教育のところ、市立幼稚園は縮小の方向という御質問は数のことを言っているのでしょうか。ということは、「数は少ないけれども、しっかりやっているよ」というのが回答だと思いますが。

応募者が少なくなっているという表が出ていますが、そういうことをちゃんと説明してあげないといけないと思いました。ここにデータも出ていて、市立幼稚園に応募する人が減っているという事実があるので、「数的には減るけれども、内容的にはちゃんとやっているよ」ということを回答しなければいけないと思いました。

教育長

そうですね。1クラス十五、六人の幼稚園の実態です。

委員

そうですね。

教育長

もっと少ないところは8人ぐらいのところもありますからね。それでは幼稚園としての機能が働かないということ。

委員

そういう事実を伝えてあげないと。質問された方が単に幼稚園が減っていると感じておられるんだったら、せっかくデータも出ていますし。

座長

ありがとうございました。

他いかがでしょうか。

委員

幼稚園に勤めていますので、確かに、パブリックコメントの御意見は、市が幼稚園を縮小、幼児教育を縮小しているのかのような、そんな感じですが、垣花先生の御指摘のとおりだと思っています。

改めて今、国も幼児教育の重要性を充分示していて、義務教育化の方向性も検討しているぐらいに、幼児教育の重要性、幼児教育の充実というのが非常に大きな視点となっています。

それで、改めて私も、幼児教育に携わると、本当にこの時期の重要さというのを痛感しているところですので、内容の充実、そして、3行目にあります「学びに向かう力」、幼稚園も遊びなのですが、その遊びが小学校への学びにつながっていくんだということをしっかりとお伝えしていく必要があると思っています。

考える遊びではなくて、その遊びがいろいろ発展して行って、小学校の学びにつながっていくんだと、そういう視点で今進めているわけで、それをしっかりと伝える。

プランの中には、スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムとしっかりと押さえていただいていますので、それは、アプローチカリキュラムは各幼稚園でしっかりと作っていますし、小学校と連携しているわけですので、そういったことをここに含

めていただけると非常にいいと思っています。

座長

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

では、次にまた進めさせていただきます。御説明をお願いします。

—事務局説明—

座長

ありがとうございました。

ここも、少し細かな、要望に似たコメントもたくさんありますが、御意見、御指摘
いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

低学年のお子さんが親の了解なしに学校にもう少し残れるようにしてほしいとい
うのは、市の考え方を示すと、安全面から考えると難しいですね。今、海外でも、小
学校段階ぐらいは親御さんが迎えに来ないと下校できないようなところも多いと思
います。ですから、これは非常に難しいですね。

教育長

児童クラブと放課後子供教室が全く異なるものだということが理解されているか
どうか。

あるところでは一括して民間に児童クラブと放課後子供教室を委託するところも
ありますが、放課後子供教室はそういうものではなくて、地域のボランティアを頼ん
だり、コーディネーターに依頼して、学校の空き教室を利用して一時的な教育を行っ
ている。だから、遅くまでやっているものではないということも理解をしていただい
かなければならない。

つくば市のように、学校数が多く学校間も離れていると、都市部のように行政で児

児童クラブと放課後子供教室を一元的に管理するのはなかなか難しいですよ。小学校と中学校がくっついていればいいのですが、地域から離れたようなところは、恐らく帰りのことも考えなくてはならないし。

児童クラブは親が迎えに行くというのが原則で、放課後子供教室は自分で帰るのが原則。その辺の違いも理解をしていただくような回答にしないと難しいのかなと思いますね。

委員

今の児童クラブのところの説明がとても丁寧というか、最初のほうは、今、先生がおっしゃったとおり、いろいろ書いてあるのですが、そこがなくても「6年生まで受け入れられているよ」という回答でこの場合はいいのではないかなと思いました。

それで、児童クラブとの違いみたいなものは、別のところで何らかの形で回答して、前のほうは何か要らない気がするのですが、いかがでしょうか。

事務局

前のほうというのは。

委員

TXで人口が増えるとか。

事務局

これについては福祉部のほうで回答していますので、福祉部が回答したとわかるようにしたいと思っています。

座長

ありがとうございます。

他いかがでしょうか。

委員

9ページ目の最初の、ユニバーサルデザインのことについての御意見ですが、趣旨は、このプランを見ただけでは、ユニバーサルデザインというのが今どういうふうになっていて、目標がどうなっているかというのが明記されていないのではないかという

ことでしょうか。御意見された方の、内容、趣旨がよく読み取れないのですが。とにかく、回答になっているかどうかという視点で見えていたのですが。例えば、プランを策定するに当たって、これまでの現状分析とか、最初のほうに通常書きますよね、背景とか。そういうところにこれに関連するような文言があったりするんですか。

教育長

教育のユニバーサルデザイン化は、一般的なユニバーサルデザイン化と違いまして、誰にも、どんな子にもわかる授業を目指すということなんですね。

授業の焦点化とか、授業の共有化とか、教室の前面にいろいろべたべた張って行って特別支援の子の目が追いつかなくなってくる、気持ちが落ち着かなくなってしまう、そうではなくて、誰もが理解できる、わかるような授業の構築をしようというのが教育のユニバーサルデザイン化なんです。

ですから、ユニバーサルデザインというのを前面に出しますと、一般の方にはわからないかもしれませんね。その辺のところは気をつけて説明しておかないと難しいかもしれません。

ユニバーサルデザインについて現状はどうなっているのか、今後の目標を記述し、明確に実施していくというのがこの意見ですよね。ですから、この意見と、我々が出したこの文言は、ちょっとニュアンスが違うのかもしれませんがね。授業の構築というところでのユニバーサルデザイン化ですから。

委員

それがわかるように、その方に回答を伝えていけばいいということ。

教育長

ここの問題はこれでいいと思います。

座長

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

委員

細かいところになってしまって申し訳ないですが、10 ページ、上から3つ目の教育日本一を目指すの部分から始まっていて、先生方が忙しいと書いてあるのですが、片や、考え方では、教職員の研修を進めるとか、充実させると。この2つだけを見ると何か、余計先生たちが忙しくなってしまうというふうにとられるような気もするのですが。

御意見を書いた方の内容は、先生にもっと裁量を、ということのようなので、もう少し丁寧に説明をしてあげたほうがいいのかなというのを感じました。

事務局

内容を精査したいと思います。ありがとうございます。

委員

先生の忙しさについての回答がないですね。でも、昨日の行政経営懇談会の中で、TT（ティーム・ティーチング）の先生を市として独自に頼んでいるという話をお聞きして、そういうことを書いていないといけないのではないかと。つくば市はそういうところにお金を使って、TTを別に頼んでいるとか、県からの補助でちゃんとやっているということを書いたほうがいいんじゃないでしょうか。

教育長

ありがとうございます。そうですね。

座長

他いかがでしょうか。

教育プランは1期するときも、概要版をつくりましたか。今回お寄せいただいたものを拝見して、何かまだまだ浸透していない無力感を感じたので、もっと一目でわかるものが必要なのかなという気がしたのですが。

委員

教育委員会からの通信みたいなものが回覧板に入っていて、それはつくば市の教育の中身がすごく見えるような形になっているという話が、昨日（行政経営懇談会）も出ていました。

教育長

あれ「学び舎」という。

委員

「学び舎」というんですね。私はたまたま回覧板の中に1枚入っていて気がついて、あっ、この頃これ出してるんだ。初めて見たと思いました。最近出したんだっておっしゃったので、あれって多分、一般市民もこんな活動してるんだというのがとても見えて、よかったなと思います。

事務局

平成22年から発行しています。

教育長

回覧板に入れるという作業は最近かもしれません。各学校の子供たちにはずっと配っています。地域の人に完全に行き渡っている。

委員

たまたま気がついた。回覧板は、いっぱい何か来るのでなかなか気がつかない

教育長

最近、学校の便りも回覧板と一緒に回すところもございます。

委員

それはよかったなと思いました。

教育長

それから、もう1つは、常陽新聞社さんがつくばの取り組みをきちんと書いてくれて、それを子供たちに1枚ずつ、全戸に分けていますから、それをお母さんお父さんに見せていけばいいですが、なかなか目に触れない方もいらっしゃるかもしれません。

座長

そのあたりも工夫を考えて。よろしくお願いします。

学校の中の学級通信なども、伝達事項が多くなったら読まなくなるということがあるので、魅力ある紙面を、よろしく願いいたします。

(2) その他

座長

では、協議事項(2)のその他について、事務局より御説明お願いいたします。

事務局

これから決定までのスケジュールでございますが、本日いただいた御意見をもとに、パブコメの市の考え方をまとめたいと思います。

それと、本来このプランは基本計画で、方向性を示すものであって細かい個別計画ではないので、詳しく説明するというものでもないとは思いますが、バランスを考えて、修正等を加えたいと思っております。

それで、それがまとまりましたら、今月の教育委員会にかけまして決定と考えております。いただいたパブリックコメントの御意見については、丁寧にできる限り答えたいと考えております。以上でございます。

座長

ありがとうございました。

他に御意見等ないようでしたら、これで本日の案件は全て終了いたしました。

これをもちまして座長の職を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。